

# ろうさい ニュース

平成 30 年

6 月号

第 406 号

## ■内分泌代謝内科のご紹介

内分泌代謝内科部長 大石 裕子

平素は貴重な症例のご紹介をいただきまして、お世話になっております。

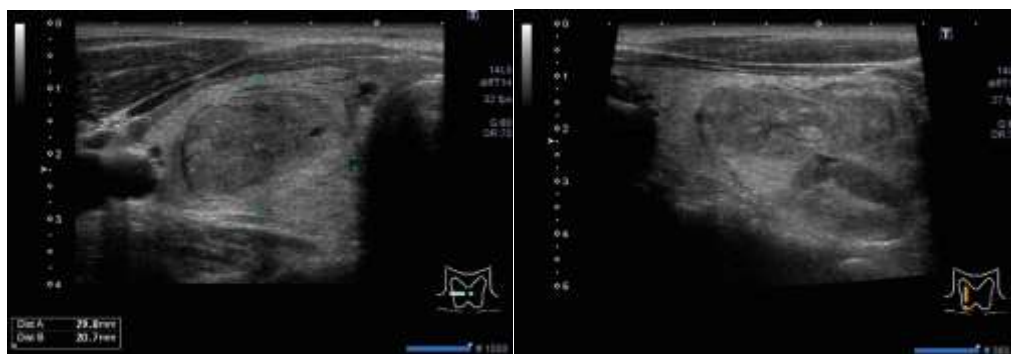
最近健診にて甲状腺腫が指摘されたり、また胸部画像 CT などに甲状腺結節が写り込んで指摘されての受診が増えております。

よく知られるバセドウ病、橋本病などの自己免疫疾患では、自覚症状や血液学的に診断がつきますが、健診などで甲状腺腫を指摘された場合は、無症状の患者さん自身は青天の霹靂の状態を受診され、不安が大きい様子がうかがえます。甲状腺については CT や MRI よりも内部の性状や血流状態をはっきりと観察出来るエコーが必須です。

充実成分の結節の場合は、いわゆる腺腫様甲状腺腫のことが多いですが、確定診断には、エコーガイド下での穿刺細胞診を必要とします。

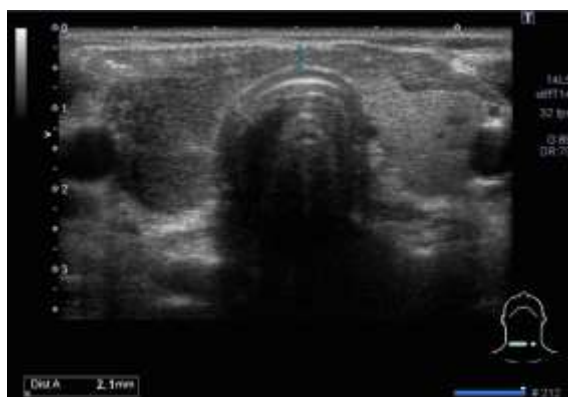
### ①腺腫様甲状腺腫

サイズは様々で辺縁は整、境界明瞭であることが多いですが、中には多房性であったり、嚢胞性結節を有していたりすることもあります。内部充実性で微小な石灰化などが見られる場合には、積極的に悪性との鑑別のため、穿刺細胞診を行います。



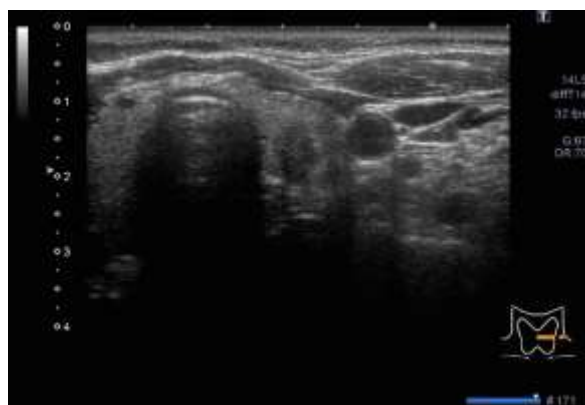
## ②亜急性甲状腺炎

感染症状とともに甲状腺部の圧痛を伴い、血液学的にも一過性の甲状腺機能亢進を示します。ステロイドが著効するため、バセドウ病との鑑別のための甲状腺自己抗体の結果を待たずに、問診での経過と触診、および甲状腺エコー像にて治療を開始します。画像では右葉内の低エコー領域が触診上での圧痛部分と一致します。治療により炎症が治まると、低エコー域は認められなくなります。



## ③甲状腺乳頭癌

甲状腺の悪性腫瘍のうち、8割が乳頭癌です。当科でも年に1～2例を診断しています。エコーでは辺縁境界の不明瞭、微小石灰化などを認めることが特徴とされていますが、確定診断には細胞診を要します。嚢胞性変化を伴う結節の充実部分にも見られることもあります。なお、病理的診断がついた場合には、浜松医療センターや聖隷浜松病院耳鼻科へ紹介させていただいております。



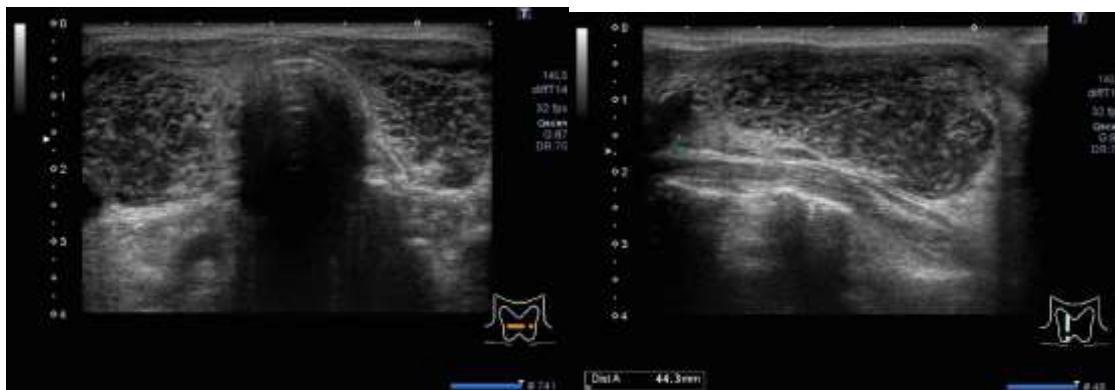
甲状腺左葉内の辺縁不整な低エコー結節.  
一部 acoustic shadow を認め、不明瞭ながら、微小な石灰化の潜在を認める.



甲状腺左葉内の辺縁不整な低エコー結節.  
acoustic shadow 伴う微小な石灰化を  
多数認める.

#### ④悪性リンパ腫

高齢女性に好発する比較的稀な疾患で、悪性リンパ腫の2%が甲状腺原発とも言われています。比較的短時間で増大する頸部の腫瘤に気づかれることが多く、触診では硬く、可動性不良の圧痛のない腫瘤として触れます。頸部のリンパ節などの腫大も伴うことがあります。血液内科に紹介させていただきます。



やや複雑な内部エコーを有する著明な低エコー腫瘤で後方エコーの増強を示している。

甲状腺は、エコーで観察が容易です。御観察いただきまして、何か所見がある場合には、当科にご紹介いただければ幸いです。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

### ■婦人科のご紹介

婦人科部長 小澤 英親

先生方はじめ関係者の皆様方には平素より大変お世話になり、ありがとうございます。婦人科の小澤英親より、当科について紹介申し上げます。

現在、当科は常勤医師1名（小澤英親）と浜松医大から週3回の外来応援を得て運営されています。

外来診療時間は、

月曜から金曜日の毎日 外来受付時間 8:30～11:00

午後診療（水曜日のみ） 外来受付時間 13:00～15:00

となっております、いずれも、予約・予約外問わず診療しております。また水曜日の午後は女性医師が診療を行っております。

診療内容としましては、一般的な婦人科診療、例えば子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍、子宮癌といった良性腫瘍や悪性腫瘍、子宮脱や膀胱瘤などの骨盤臓器脱、さらに子宮周囲炎、子宮附属器炎、骨盤腹膜炎、膣炎、性行為感染症といった感染性・炎症性疾患、また月経困難症、月経異常、更年期などの機能的異常などを扱っています。

婦人科手術は、大きく開腹手術か腔式手術かに分けられます。当科では開腹手術において腹腔鏡（内視鏡）手術をH24年度から導入しており、年々症例を積み重ねています。

従来手術で行わなければならない疾患も引き続き存在しますが、膺式手術も含め全ての手術の手技向上に日々精進しております。

近年、子宮頸癌の増加・若年化が問題となっておりますが、当科では H29 年度に、子宮頸部細胞診を 1175 例施行し、コルポスコープ下の精密検査（組織診）を 28 例に行い、子宮頸部切除手術を超音波凝固切開装置（ハーモニック）で 7 例に施行、その結果 1 名の浸潤癌と 4 例の初期癌を診断できました。比較的良好な成績と思われ、子宮頸癌の精査にはぜひ当科紹介を検討していただきたく存じます。



ハーモニック



コルポスコープ

常勤医師 1 名で甚だ微力ではありますが、これからも地域医療に少しでも貢献させていただきたいと思っております。以上、簡単ではございますが、当科の紹介をさせていただきました。今後ともよろしく願いいたします。

### 第 33 回浜松 E A S T 医療連携セミナーの開催について

平成 30 年 7 月 25 日（水）に、浜松 E A S T 医療連携セミナーを下記のとおり開催いたします。今回は「内科医が診る不眠障害」がテーマです。ご多忙中恐縮ではございますが、ご出席いただけますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成 30 年 7 月 25 日（水）

19：30～20：40

場 所：浜松労災病院 6 階 大会議室

講 師：浜松医科大学 内科学第一講座 教授 宮嶋 裕明 先生

独立行政法人 労働者健康安全機構

電話 053-411-0366

受付時間

浜松労災病院 地域医療連携室

fax 053-411-0315

月～金 8:15～18:00 土 8:15～12:00